

テーマ：『 知ることを喜び、探究し、活用する力を育てる環境教育 』

相模原市立 藤野南小学校

Tel. 042-689-2046

担当者：佐藤 久美子



#### ■実践内容:

全校児童による、「さがみ風っ子ISO」での取組

- ① EM菌…プールの浄化と清掃
- ② 電気・水道の無駄遣いをしない…点検活動と啓発
- ③ 給食の残菜を出さない…月ごとの残菜点検頑張り表
- ④ 学習用具を大切に使う…学級での確認

各学年での取り組みの取組(活動の一部)

- 1年「自然からのおくりものをさがそう」…生活科の学習そのものが環境教育であるという押さえをし、近くの山々の観察や、草花や昆虫などについての学習をした。その学び『環境の木』に残している。(上記写真左)
- 2年「自然となかよし」…自然の中の、鳥に注目し、バードウォッチングとバードハウス作りを通して、鳥に親しむ。
- 3年「大豆になろう」…大豆を育て、味噌を作るまでの学習を通し、枝豆がどのようにして大豆になるのかといった変化や疑問、そして、それぞれの課題に取り組んだ。害虫や肥料そして土との関係もその一つである。
- 4年「川と生き物」…地元の川の生物の種類を調べたり、水の速さ・深さ・カーブの大きさ等について実踏した。また、上流と下流の生き物の違いや水の汚れを交流学習の中で学ぶ。観察後は必ず元の川に生物を戻すことができた。
- 5年「森林とのかかわり」…国語科や社会科等の教科関連として環境教育に取り組む。森林組合の方を講師とし、森林伐採や間伐材でのコースター作り等を実践した。
- 6年「自分でできるエコライフ」…身近な自然に関わる学習から、社会環境へと視点を広げ、電気使用に着目し保全についての学習に取り組む。(上記写真右)

#### ■実践成果:

環境マトリクスを取り入れた指導法と体験学習を通して、知る喜びが感じられた。また、学習発表として、地域への実践の発信を行った。参加者の中から、「我が家でもできることをやりたい」との言葉が聞かれた。各学年による創意ある言語活動ができた。

#### ■実践ポイント:

地域の自然や生活について、地域人材(学習ボランティア)を講師として学ぶ中で、自らの自然環境のすばらしさに気付き、その環境を大切にしたいという心を育む教材観と指導法へのチャレンジ。